



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

五木村診療所による五木村新型コロナワクチン接種



受付



接種会場



ワクチン接種後待機



ワクチン準備風景



問診



接種後送迎バス

5月6日から5月17日(1回目)、5月27日～6月7日(2回目)に五木村役場大会議室を会場に65歳以上の五木村住民の方を対象に新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まり、対象者520名中、集団接種希望者390名の方が2回目接種まで終わられました。

当日は、五木村診療所は午後から休診し、スタッフ総出でワクチン接種業務にあたりました。会場入り口で検温、受付して各区画にわけた部署で、問診表の記載チェック、保健師による体調確認、医師の診察、ワクチン接種を行い、副反応観察のため別室で接種後の注意点のビデオを見ながら30分待機してもらいました。

交通手段のない地域には送迎バスを運行、発熱など副反応の対応も考慮に入れ、接種翌日が診療所休診の日を避けた日程が生まれ、会場設営や人の流れを把握するため地元

住民も参加してのシミュレーションをして接種が始まりました。

ワクチンの希釈方法や取扱の不安に対しては、初日に人吉医療センターの薬剤師の応援を受け、アナフィラキシー反応に対しても救急カートの準備をして臨みました。

小規模自治体であり時間設定に沿って受付がスムーズに流れ、密になることもなくできたのは会場スタッフと地域住民が顔見知りでコミュニケーションが取りやすい利点があったと思われます。

これから60歳から64歳の基礎疾患のある方への接種が計画されておりまだまだ新型コロナウイルス感染の終息への道りは遠いですが早く平和な日常が戻ってくることを祈りたいと思います。

五木村診療所 看護師 今村 久江

新型コロナウイルス感染症 HCU 感染病床増床

新型コロナウイルスの変異型が猛威を振るい、第4波となる感染拡大が継続しています。

感染者数は減少傾向にあるものの各地で感染防止策が取られ、予断を許さない状況が続いています。人吉球磨地域においても同様に感染状況は落ち着きをみせるものの、今後の感染状況が心配するところです。その状況を受け、当院でも感染病床の増床や重傷者に対応していくため、当院のHCU(高度治療室)の病棟の改修を実施しました。HCU入室が必要な方で新型コロナ罹患患者、新型コロナ重傷者を受け入れるため、備品の準備を整え、6月1日八代保健所より許可を得て、6月7日より順次受け入れをすすめております。(県のリスクレベルに伴い病床数の変動があります。)患者さんが安心して当地域で医療が受けられるようハード・ソフト両面の体制整備を強化に努めています。



また、受け入れ病床の確保に加え、後方医療機関の病床確保も必要不可欠と思われます。地域の先生方にも引き続きご協力を賜り、地域一丸となって新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の構築をすすめていきたいと思っています。

HCU 社会福祉士 田頭 隼人
看護師長 尾方 千恵

みなご存じですか？ 新型コロナウイルス検査の違いについて

新型コロナウイルスの検査といえば“PCR”と今では多くの人が知るところとなりました。しかし、PCRってどんな検査？ 抗原検査と何が違うの？と思われる方も多いと思います。今回は検査方法の違いなどについて説明します。

《検査の基本的な考え方》

新型コロナウイルス検出検査として、核酸検出検査(PCR法やLAMP法など)、抗原検査が実施されています。いずれの検査でも病原体が検出された場合、検体採取した時点における感染が確定されます。ただし、同一被検者でも経時的に排出ウイルス量が変化するためウイルス量が少ない場合には検出限界以下(陰性)となります。

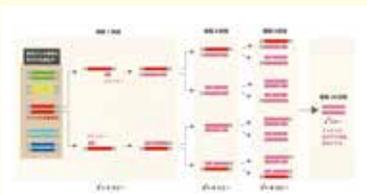
《検査の種類》

●核酸検出検査

ウイルス遺伝子はとても微量であるため特異的に増やさないとうイルスの有無を確認することはできません。ウイルスの遺伝子(核酸)を特異的に増幅することでウイルスを検出する検査を核酸検出検査といい、核酸の増幅方法の違いによりPCR法やLAMP法などがあります。

○PCR法

ポリメラーゼ連鎖反応。DNAポリメラーゼと呼ばれる酵素の働きを利用して、一連の温度変化(95℃30秒→55℃30秒→72℃60秒)のサイクルにて目的とする遺伝子領域を指数関数的に増幅させます。

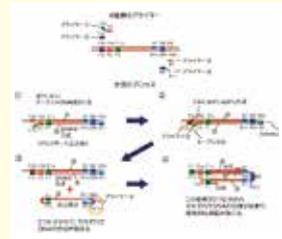


高温により2本鎖DNAを熱変性させ1本鎖DNAにし、急激に冷却して1本鎖DNAに対する相補配列を結合させ伸張する、これを繰り返しウイルスの遺伝子が増幅することでウイルスの有無を確認します。

ただし、新型コロナウイルスはRNAウイルスであるため、PCRはDNAを増やす技術であるため、RNAを直接増やすことはできません。このため逆転写という操作でRNAをDNAに変換して増幅させます。

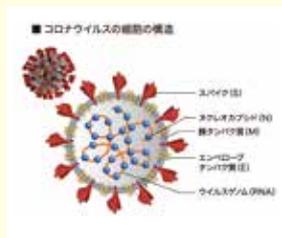
○LAMP法

LAMP法はPCR法のような温度変化ではなく、一定の温度下(65℃)で特殊な試薬により遺伝子を増幅させる方法です。PCR法に比べて増幅効果が高く短時間でウイルスを検出できる検査であるため、簡易PCR法ともいわれます。なお、当院ではLAMP法と同じ様な原理のSmartAmp(スマートアンブ法)も実施しています



●抗原検査

新型コロナウイルスの構成成分であるタンパク質をウイルスに特異的な抗体を用いて検出する方法です。核酸検出検査と同様に陽性の場合にはウイルスが存在することを示します。一般的にこの検査は核酸検出検査に比べて感度は低いとされます。



●抗体検査

抗体検査はウイルスを検出するのではなく、ウイルスに対する抗体の有無を調べる検査です。抗体検査が陽性となる時期は罹患後1～3週間経ってからです。これはウイルスが検出されなくなる時期と重なり、一般的に感染歴の指標に使用されます。従って抗体検査が陽性であっても、その時点で被検者からウイルスが排出されていることを意味するものではありません。

当院では、当院発熱外来でPCRを実施し、入院時や手術前にはLAMP法を用いて実施しています。また、自費でのPCR検査も実施しています。

今後も患者さんの症状に合わせた検査を実施し、検査の充実を図っていききたいと思います。

出典 新型コロナウイルス感染症 病原体検査の指針
栄研化学株式会社 LAMP法原理資料
臨床検査部 永井 香代子

コロナに負けるな！

～新型コロナ対応病棟での現状～

当院では当地域での新型コロナウイルス感染者の入院受け入れを行っております。県のリスクレベルに準じて、県内の医療提供体制が逼迫する状況の場合には広域的な入院・転院に対応などにも対応しています。

新型コロナ対応病棟では防護服を着て対応しています。普段からN95マスクのフットテストや防護服などの研修を行い、スタッフの二次感染予防に努め、医療・ケアを提供しております。直接的なケア以外は、タブレットや遠隔モニターなどを用いての患者さんとのやり取りも実施しています。通常のように患者さんがそばに寄り添い、手のぬくもりを感じてもらえるケアをすることが難しい中、つらさが少しでもとれるよう患

者さんと共に頑張っています。今からの季節は暑くて、苦しい場面もありますがコロナに負けることなくケアに努めていきたいと思えます。平穏な日々を取り戻すためには一人一人の感染予防が必要です。みんなで頑張りましょう。



5階西病棟 看護師長 赤池 直子

人吉医療センターの水害対策

2020年7月4日に発生した「令和2年7月豪雨災害」から1年が経ちました。

改めて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。また災害直後から国や全国の自治体、民間企業・団体などなど、多くの方からご支援をいただきました。心より御礼を申し上げます。

当院でも豪雨災害を経験し、災害対策・防火委員会を中心に人・もの・設備でさらなる防災対策の強化に取り組んでいます。

JCHO 人吉医療センターの災害対応基本方針として①寸断なく医療提供を行うこと、②人命を最大限優先すること、③災害拠点病院として地域の医療的の核となることを掲げています。災害時には病院連絡簿を活用し職員の安否・安全を確認するとともに、医療提供を維持するために職員招集や勤務の可否確認などを行っています。また、大雨警報時には、出入口や通路などへ防水板を設置し水害被害対策に努めています。さらに、

赤い防水板、吸水性土嚢、防災用品や、防水シート、非常用簡易トイレ9000回分、備蓄食の追加購入をしました。設備面では、今回、委員メンバーを中心に院内の地下ピット（地下空間）の確認を行いました。地下ピットとは、電気配線や給排水設備の配管などのメンテナンス用に設けられた空間です。当院の地下ピットは3メートル程の空間となっており、水害時に有効活用できることが確認されました。地下ピットの使用手順やBCP（事業継続計画）に基づいた水害マニュアルの見直しなど、整備を行い関係職員で情報共有を行ってまいります。

災害が起こらないことを願いますが、対策はさらなる強化を目指し、住民の皆様が安心して医療を受けられるよう、また、安心して医療の提供ができるよう環境整備に努めてまいりたいと思います。

災害対策・防火委員会



新任医師紹介

新型コロナウイルス感染拡大等に伴い、懇話会や研修会等が開催できず、新任医師の紹介ができていなかったため、今回、本年度より赴任された新任医師をご紹介します。

整形外科

本年4月より整形外科に赴任しました後藤裕之と申します。出身は鹿児島県で平成27年に熊本大学を卒業しました。卒業後は、荒尾市民病院にて初期研修を終了し、熊本大学整形外科へ入局後、熊本大学病院、熊本赤十字病院、熊本再春荘医療センター、大牟田天領病院に勤務しておりました。昨年までは、主に骨折などの外傷を中心に診療に従事しておりましたが、当院では変形性股関節症や変形性膝関節症などの変性疾患を含め、幅広く診療を行っていききたいと存じます。医師としてはまだま

だ未熟者ですが、人吉・球磨地域の中核病院である人吉医療センターの一員として、患者中心の医療、安心と信頼を持たれる診療を常に考え、少しでも患者様の診療に役立てるように努力していききたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



整形外科
後藤 裕之

みなさん、こんにちは。4月より人吉医療センターへ配属となりました、整形外科の唐田宗一郎と申します。整形外科医として4年目でまだまだ未熟ではありますが、地域の皆様の疼痛を取り除けるように尽力して参りたいと思います。

人吉・球磨地域は手や足を怪我される方が多く感じます。当院では手術も精力的に行っておりますので、骨折や外傷など処置が必要な場合は是非ご紹介ください。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



整形外科
唐田 宗一郎

入局から現在まで、主に熊本市内や県北の病院に勤務しており、人吉・球磨地域をはじめ、県南の医療に従事するのは初になります。不慣れで至らない点が多いですが、優しいスタッフの皆様の御陰でなんとか業務をこなしております。

脳神経外科

2021年4月1日より脳神経外科に赴任いたしました、原田圭輔と申します。熊本大学病院の勤務を経て、当院脳神経外科に着任しました。医師としては4年目（2年間は研修医としての勤務）、脳外科医としては2年目と若輩ではありますが、人吉・球磨地域の医療に貢献できるよう頑張っている所存です。

らを総合的に高いレベルで診療できるよう日々研鑽を積んでいきたいと考えております。脳外科疾患は日々の生活や命に直接的に関わる病気も多く、何か不安や疑問がありましたらご相談いただくと幸いです。

当院は人吉・球磨地域の拠点病院です。特に脳神経外科疾患を診療する病院は少なく、県外からも当院に受診される場合があります。また、疾患も脳梗塞や脳卒中、くも膜下出血などの脳卒中をはじめ、てんかんや腫瘍など多岐にわたります。これ



脳神経外科
原田 圭輔

泌尿器科

泌尿器科の山中広太郎と申します。前任は熊本大学病院で2021年4月より常勤として赴任いたしました。

泌尿器科
山中 広太郎



人吉・球磨の地域医療に少しでも貢献できればと思います。なにかございましたら気軽に相談いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いします。

麻酔科

4月より人吉医療センターの麻酔科に配属となりました奥 貴亮と申します。久しぶりの熊本市外での生活にもようやく慣れてきた今日この頃です。

きるよう努力していききたいと思います。何かお困りの際にはお気軽にご相談ください。

医師としては8年目になり、現在に至るまでは熊本大学病院、熊本中央病院、熊本労災病院で勤務し、主に手術麻酔全般に携わって参りました。人吉医療センターは人吉・球磨地域の中核病院であり様々な手術が行われています。これまでの経験を生かし、手術室スタッフと協力しよりよい手術を患者様へ提供で

至らない点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科
奥 貴亮

人吉球磨多職種連携 ICT WEB セミナー

2021年6月16日人吉球磨多職種連携 ICT WEB セミナーが開催されました。今回、在宅医療における ICT を活用した地域連携について～バイタルリンク・くまもとメディカルネットワークの活用～をテーマに74名の参加があり、医師、看護師、薬剤師、リハビリ、社会福祉士、ケアマネジャー、地域包括支援センター、保健所等の行政機関の方等、多職種の参加がありました。WEB 開催でもあり、人吉球磨以外の他地域の参加者もありました。

近年、ICT の活用は医療・福祉の現場でも活発化されています。今回の研修会で、ひとよし在宅支援診療所 外山 裕二先生を座長に現在、在宅を中心に活用されているバイタルリンクについて、帝人ファーマ株式会社 尾藤 宏樹氏より説明され、バイタルリンクは、リアルタイムで多職種と情報共有ができる SNS 型 ICT ツールで、その機動力の良さについて説明がありました。人吉球磨地域でも活用されているくまもとメディカルネットワークについて人吉医療センター 医療福祉連携室 山田 一裕より文章送受信や診療情報ビューアや介護情報ビューアでの患者情報の把握、サマリー等の確認など可能で、災害の際にも活用された ICT ツールとして説明があり、各々の機能、特長について詳しく説明していただきました。また、両者を活用した事例を人吉市医師会訪問看護ステーション高田 愛美氏より感想交え報告していただき「ICT は用途と特長を活かして使い分けること、食わず嫌いせず、まずは使ってみましょう」というメッセージが参加された皆さんに響いたのではないかと思います。今後、ICT ツールの活用は在宅医療の更なる推進に必要なものと考えます。地域全体で情報が共有でき、シームレスな連携を図れるよう在宅医療サポートセンターとしても引き続き努めていきたいと思います。

球磨地域在宅医療サポートセンター
(人吉医療センター) 田頭 隼人



マダニにご用心!!



2020年7月の水害後、「日本洪水熱」と言われるように、水害後土砂と関連が疑われたツツガムシ病発生しています。当院でも、熱源不明で血小板低下や肝機能障害を認め、マダニ類による感染症を疑い検査を行いました。

マダニ媒介感染症は、人吉球磨の場合、日本紅斑熱は少なく重症熱性血小板減少症候群を散見します。熱源不明で、意識障害を認め、検査では白血球や血小板が低下し、AST、ALT、LDH、CPK が上昇し、血液や尿など検査を行い診断しますが、急激に腎機能低下し救命が難しいことがあります。

ダニから身を守るには、特に野生動物が多い場所での農作業時や野外活動時には肌の露出が少ない服装、忌避剤(虫よけ成分、ディートとイカリジン)を利用する、長い休憩時にはシートを敷くなどの対策を取ることが必要です。

国立感染症研究所発行のマダニ対策に関するパンフレット、「マダニ対策、今できること (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>)」に詳しく書いてあります。

血液型がO型、B型の人が、ダニ咬傷により肉アレルギーを発症するなど、ダニが関連する疾患は感染症を含め、まだ気付かれていない疾患が発見される可能性があり、これからの診療においても注意して診ていきます。

総合診療科 医師 田浦 尚宏

外来待合椅子 ソーシャルディスタンス実施中

現在、当院では新型コロナウイルス感染症の予防のため、外来待合のソファにソーシャルディスタンス対策を施しています。来院された皆様には大変ご迷惑、ご不便をおかけしてしまいますが、何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



医療福祉連携室 田頭 隼人

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021 くまもと

5月15日(土)から16日(日)に熊本市白川公園で開催予定でした「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021 くまもと」のリレーウォークなど会場イベントが、新型コロナウイルスの影響にて中止になりました。

「リレー・フォー・ライフ」(RFL)とは、がん患者や家族、その支援者が24時間交代でタスキをつないで歩き、地域全体でがん向き合い、絆を深め合うためのイベントです。がん制圧へ向けたチャリティ活動でもあり、世界20か国以上、日本では全国約50か所で開催されています。熊本では10周年となるはずであった昨年に続いての中止です。例年は熊本県や熊本市、検診機関、がんサロンネットワーク熊本、各患者団体、医療機関、健康保険協会、私の所属するがん診療連携協議会相談支援・情報連携部会がん専門相談員ワーキンググループなどがチームを組んで参加し、がん啓発ブースを設置して相談に応じたり、リレーウォークやグッズ販売、ステージ演奏などの催しで交流を図ったりしていました。

ただ、今回は会場でのイベントが中止になったものの、県全域から集められた皆さんの思いを書いたルミナリエ(紙灯籠)は実行委員の手によって会場で点灯されました。この他にオンライン配信など代替イベントも企画されており、募金なども通常通り受け付けています。県内の皆さんのメッセージ動画も募集され、ルミナリエも代替イベント時にホームページやYouTubeでの公開が検討されています。私も患者さんやご家族の安心に少しでも繋がればとの思いで、熊本県のがん相談支援体制についての動画を送らせていただき、近く配信予定です。募金だけでなく、Webなど通じてこの活動を知っていたただけでも有意義なことだと思います。コロナ禍における取組だからこそ、新たな可能性も感じられました。どうぞ今後のイベントや配信予定など「リレー・フォー・ライフ・ジャパン くまもと」のfacebook等でチェックして下さい。よろしくお祈りいたします。

医療福祉連携室 南 秀明



きれいなお花でちょっと一息 ～花壇植え替えを行いました～

当院駐車場入り口(北側)に花壇があり、地域協会の園芸部の皆さんに色とりどりのお花を植えていただいております。今回は、気温が高いこの時期でも育つ、アングロニア、千日紅、マリーゴールド、ポーチュラカ、マツバボタンを約100株植えられています。お立ち寄りの際は是非ご覧ください。また、植え替えにご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



東京オリンピック・パラリンピック 開催に伴う診療日の変更について

東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、2021年の祝日移動により、当院の一部診療日程が変わりますので、ご来院やご予約の際はご留意下さいますようお願い致します。

移動前	移動後
7月19日(月)海の日	→ 7月22日(木)
10月11日(月)スポーツの日	→ 7月23日(金)
8月11日(水)山の日	→ 8月 8日(日)
	8月 9日(月)振替休日

祝日移動に伴う当院の外来診療日について

7月	7月19日(月)	通常診療
	7月20日(火)	通常診療
	7月21日(水)	通常診療
	7月22日(木)	休診
	7月23日(金)	休診

8月	8月 8日(日)	休診
	8月 9日(月)	休診
	8月10日(火)	通常診療
	8月11日(水)	通常診療

10月	10月11日(月)	通常診療
-----	-----------	------

新 任 紹 介



久我 美耶子 (内視鏡室・看護師)

趣味：旅行

好きな言葉：一期一会

自分の性格：おおざっぱなので、仕事は丁寧にするよう心がけてます

自分のコマーシャル：高校を卒業して以来、久しぶりに地元に戻ってきました。新しい生活を楽しみながら、頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。



恒松 佳容 (泌尿器科・看護師)

趣味：読書

好きな言葉：笑顔と温かい心を持ち続けること

長所：のんびりしています…短所にもなりますが

短所：方向音痴がひどく、時にはたどりつけないこともありましたが、自分のコマーシャル：久しぶりの急性期の病院で不安でいっぱいですが、一つ一つ確実に仕事を覚えていきたいと思っています。よろしくお祈り致します(もちろん笑顔も忘れません)



川内 さくら (経理課・事務助手)

趣味：スポーツ観戦

モットー：いつも笑顔

長所：好奇心旺盛

短所：心配性

自分のコマーシャル：心機一転頑張ります！



山下 郁 (医事課・事務助手)

趣味：食べ歩き、旅行。クラフトビール。

好きな言葉：感謝

長所：好奇心旺盛

短所：心配性

自分のコマーシャル：はじめての業務で慣れるまでにご迷惑をおかけすると思いますが、一日でも早く仕事を覚えお役に立てるよう努力します。よろしくお祈り致します。